

# えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP <https://isawachu.edumap.jp>〉

## ソーシャルスキル



1年生を対象に、ソーシャルスキルトレーニングのひとつとして、コミュニケーションの意味や役割、具体的な対応のあり方について学ぶ機会を学級ごとに設定しました（1月24日と31日に実施）。授業は本校担当のスクールカウンセラーと学級担任で行いました。演習学習もあり、実感的な理解を深める時間となりました。集団生活に起因するトラブルやストレスに対処する心構えや方法を学ぶ時間となりました。実際の場面に使ってほしいと思います。

## 保健講話(3年)

まごころ病院院長である伊藤正博先生においでいただき、保健体育の授業として地域医療

について学習する機会を設定しました。写真を用いての病院の概要や、医療にかかわる多様な職種の紹介、クイズを交えた医療・福祉・介護の実例紹介のお話などもありました。具体的なお話を通じて身近な地域の医療機関への認識を新たにできたと思います。



## 小中交流会



2月2日に小学6年生対象の小中交流会を実施しました。授業見学と中学校生活の説明を

通じて、4月から中学生となる気持ちや心構えをもつ機会となったと思います。説明には中学1年代表生徒が話す時間もあり、先輩としての役割も果たしてくれました。

私から伝えたことは次の点です。中学校では、学ぶこと（授業、自分にとっての学習）と、成長すること（学校生活・集団活動の経験）を大切にしてほしい。一人ひとり違うので、こうしたい、こうしたくないは伝えてほしい。在校生も新入生も準備を進めながら、4月を楽しみにしてほしいと思います。

## 期末テスト15～16日

来週はテストです。これまでの学習のまとめとしての力試しであり、到達地点を確認する機会にもなります。復習をしっかりと行い、当日を迎えてほしいと願っています。様々な学習方法がありますが、私が効果的だと感じてきた方法をいくつか紹介します。

- ・これまでのノートを読み、思い出す
- ・教科書を音読（黙読）する
- ・教科書を別に購入して学習冊子にする
- ・例題やドリル問題、ワークに取り組む
- ・時間を短く区切って取り組む

自分に合ったと感じるやり方を見つけてほしいのですが、まず必要なことは、学習時間を増やし、取り組む回数を増やすことです。勉強

以外のことは、減らすなどの生活見直しも意識してほしいと思います。

## うるう年(閏年)

今年は1年が366日で、2月は29日まであります。季節と暦のずれを調整するためのものです。改めてしくみを調べてみましたが、人間の知恵でもあるのだと感じました。どんなことにも理由や根拠があります。気になることは調べる気持ちを大切にしたいものです。

## こども調査⑥「付き合い」

あなた(10～14歳)は、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか

そう思う	27.6%
どちらかといえばそう思う	43.3%
どちらかといえばそう思わない	20.7%
そう思わない	7.7%

社交性や積極性が関係する事柄であり、人付き合いにつながる質問です。肯定的な数値は7割です。資料には示していませんが、男女差があり、男性が8割、女性が6割となっています。また、年齢が上がるにつれて肯定的な数値は低下しています。年齢とともに、つながる社会は拡大し、様々な人と出会います。よい出会いと良い関係づくりのため、正しいやり取りができるようになってほしいと思います。